

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2024年6月27日	
八尾市長 殿	
提出者	
住所 大阪市中央区城見1-2-27クリスタルタワー10F	
氏名 旭化成ホームズ㈱住宅事業関西・西日本営業本部	
技術部長 櫻井 直樹	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 06-6942-8987	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	旭化成ホームズ㈱住宅事業関西・西日本営業本部 八尾市管轄内事業場
事業場の所在地	八尾市管轄区域内
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	5,879百万円
③従業員数	685名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体現場及び新築現場から発生した産業廃棄物については、がれき類 木くず ガラスくず 廃プラ 金属くず 紙くず は破碎され再生処理がなされるよう委託している

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙添付

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
	排 出 量	0.23 t	7.05 t
	(これまでに実施した取組)		
	・施工方法の具体的改善により廃棄物を各工程よる削減 ・養生材の徹底的な使い回しを行う ・梱包材の更なるリターナブル化の推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
	排 出 量	0.21 t	6.35 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・材料のプレカット化で廃棄物の抑制 ・梱包材のリターナブル化による梱包材の削減 ・材料発注の厳密化により余剰材のカット		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・下請業者への分別、再利用、減量化の指導及び具体的対策案の検討、策定
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・新築現場における27種の分別（石膏、木くず、金属くず、廃プラスチック、紙くず、がれき類、ガラス陶磁器くず、ダンボールほか）の徹底 ・解体工事における分別を徹底することによる混合廃棄物の低減

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
3.57 t	65.17 t	14.96 t	16.36 t

②計画

紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリー
3.21 t	58.65 t	13.46 t	14.72 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

がれき類	建設系混合廃棄物	繊維くず	
1051.18 t	16.41 t	0.66 t	t

②計画

がれき類	建設系混合廃棄物	繊維くず	
946.06 t	14.77 t	0.59 t	t

(第3面－1)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実績なし(今後も予定なし)		
②計画	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	実績なし(今後も予定なし)		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	実績なし(今後も予定なし)		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	0.23 t	7.05 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.23 t	7.05 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・再資源化の高い且つ情報公開を進んで行っている業者を選定		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	0.21 t	6.35 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.21 t	6.35 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・減量を目的とした保管場所の管理(水濡れ防止)の徹底 ・建築資材の適正量の搬入 ・建築資材の現場存置時間の短縮(傷、紛失の防止)		
※事務処理欄			

②計画

紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリー
3.21 t	58.65 t	13.46 t	14.72 t
t	t	t	t
3.21 t	58.65 t	13.46 t	14.72 t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

がれき類	建設系混合廃棄物	繊維くず	
946.06 t	14.77 t	0.59 t	t
t	t	t	t
945.76 t	14.77 t	0.59 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

前 年 度 【2023年 度】 実 績

排 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪市中央区城見1-2-27クリスタルタワー10F	緑化成ホームズ株式会社 住宅事業関西・西日本営業本部	技術一課		06-6942-8987		

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況											(注＝①-②-③-④+⑤-⑥-⑦-⑧＝⑨+⑩+⑪+⑫+⑬)							②+⑩ 自ら再生利用 を行った量(t)	③+⑬ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量(t)
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自ら直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した 量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した 後埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩中間処理及び最終 処分を委託した量 (t)	委 託 先 に よ る 区 分					⑪報告認定処理業者 への処理委託量(t)				
コード	名 称											⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理 委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)	⑯報告認定処理業者 への処理委託量(t)				
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず直接埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理後の量	④の量のうち熱回収を行った量	⑤の量のうち、自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑤の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑧の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑬の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑬、⑬を除く)	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への報告認定処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行って破砕等の中間処理した量(⑬～⑬を除く)	⑬の量のうち、委託委託して埋立て最終処分した量	⑬の量のうち、報告認定処理業者への委託処理量	②の量と⑩の量を合計したもの(自動計算)	③の量と⑬の量を合計したもの(自動計算)			
1	100 燃え殻	0									0	0					0				
2	600 2430 廃プラスチック類	7									7	7					0	0			
3	700 紙くず	4									4	4					0	0			
4	800 木くず	65									65	65					0	0			
5	1200 金属くず	15									15	15					0	0			
6	1300 1322 2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	16									16	16					0	0			
7	1500 1501 1502 2440 がれき類	1,051									1,051	1,051			0		0	0			
8	2010 2020 2410 建設系混合廃棄物	16									16	16					0	0			
9	900 繊維くず	1									1	1					0	0			
10																	0	0			
11																	0	0			
12																	0	0			
13																	0	0			
14																	0	0			
15																	0	0			
16																	0	0			
17																	0	0			
18																	0	0			
19																	0	0			
20																	0	0			
合計		1,176	0	0	0	0	0	0	0	0	1,176	1,175	0	0	0	0	0	0			

(注1)トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【2023年度】目標

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪市中央区城見1-2-27クリスタルタワー10F	旭化成ホームズ株式会社 住宅事業関西 西日本営業本部	技術課		06-6942-8987		

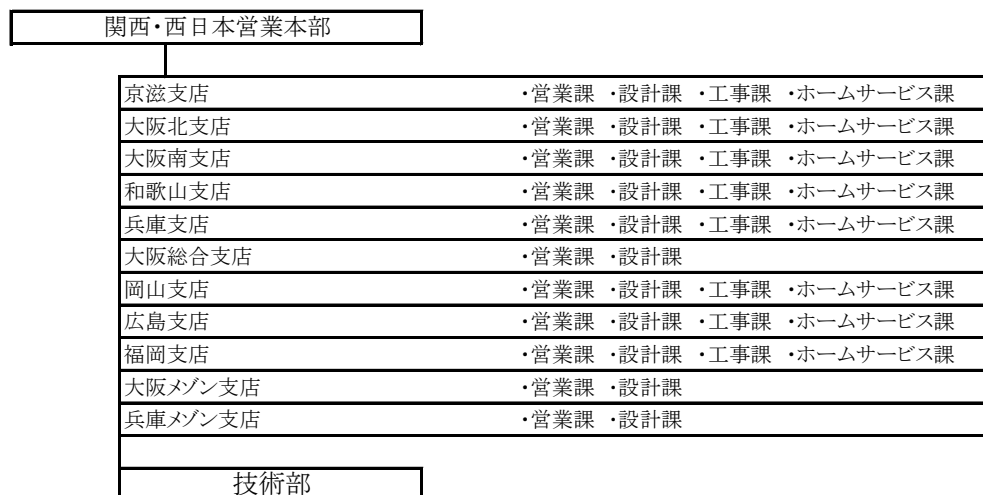
産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																	②+⑧ 自ら再生利用 を行った量(t)		③+⑨ 自ら埋立処分又は海 投入処分を行った量(t)	
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自ら直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した 量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理 した後埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩廃棄物及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	(⑩＝①-②-③-④+⑥-⑧-⑨＝⑪+⑬+⑭+⑮)					⑯優良認定処理業者 への処理委託量(t)					
												⑪再生利用者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理 委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)						
コード	名 称																					
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の 種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら埋立 処分又は海洋投入 処分した量	①の量のうち、自ら 中間処理した産業 廃棄物の当該中間 処理前の量	④の量のうち熱回収 を行った量	⑥の量のうち、自ら 中間処理を行っ た後の量	⑦の量から⑧の量 を差し引いた量	⑧の量のうち、自ら 利用し、又は他人に 売却した量	⑨の量のうち、自ら 埋立処分及び海洋 投入処分した量	⑩の量のうち、最終処 分を委託した量	⑪の量のうち、処理業者 への再生利用委託量 (⑪、⑫除く)	⑫の量のうち、認定熱回収施設 設置者である処理業者 への焼却処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者 以外の熱回収を行っている処理業者 への焼却処理委託量	⑭の量のうち、委託 して破砕等の中間 処理した量(⑭-⑮ を除く)	⑮の量のうち、直接 委託して埋立て最 終処分した量	⑯の量のうち、優良 認定処理業者への 委託処理量	②の量と⑧の量を 合計したもの(自動 計算)	③の量と⑨の量を 合計したもの(自動 計算)			
1	100 燃え殻	0									0	0						0	0			
2	600 2430 廃プラスチック類	6									6	6						0	0			
3	700 紙くず	3									3	3						0	0			
4	800 木くず	59									59	59						0	0			
5	1200 金属くず	13									13	13						0	0			
6	1300 1322 2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	15									15	15						0	0			
7	1500 1501 1502 2440 がれき類	946									946	946				0		0	0			
8	2010 2020 2410 建設系混合廃棄物	15									15	15						0	0			
9	900 繊維くず	1									1	1						0	0			
0																		0	0			
1																		0	0			
2																		0	0			
3																		0	0			
4																		0	0			
5																		0	0			
6																		0	0			
7																		0	0			
8																		0	0			
9																		0	0			
0																		0	0			
合計		1,058	0	0	0	0	0	0	0	0	1,058	1,058	0	0	0	0	0	0	0			

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

別紙

関西・西日本営業本部における産業廃棄物担当者及び管理組織図

統括責任者	住宅事業関西・西日本営業本部 技術部長
廃棄物担当	住宅事業関西・西日本営業本部 技術部 環境管理担当 2名
廃棄物担当の役割	1. 廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分・再生利用等適正処理の推進及び管理 2. 廃棄物処理計画の策定 3. 廃棄物管理状況の把握及び改善等の検討・立案 4. 収集運搬業者・中間処理業者・最終処分業者・再生利用業者の調査・選定及び管理 5. 委託契約の締結 6. 監督官庁への各種報告 7. 社員・関係会社・下請工事店等に対する教育・啓発



本社における産業廃棄物管理組織図

